

# あなたの声を町政に

十人が一般質問（質問順）

一般質問では、十人の議員が登壇し、公民館活動、雇用対策などについて質しました。  
今回からは、一時間以内での一問一答方式に変更しましたので、より実のある質疑応答がなされました。

## 問 「美しい田園」保持の対策は

答 町独自では、困難である



片山元八郎議員

**Q** お茶の水女子大学教授藤原正彦氏が、ベストセラー本「国家の品格」で品格ある国家の指標に「美しい田園」を掲げている。イギリスを例にあげ、美しい田園が保たれているのは、農民が立っているのは、農業と。経済原理だけでなく、祖国愛や惻隠の情が生きている、と述べている。本町が、品格ある国家

の模範となるべく、今なすべき具体策を伺う。

**A** 町長

田園の荒廃を防ぐことは、市場経済優先ではできない。農林業は、国土保全など多面的機能を有しており、産業としての自立には無理がある。わが町独自の取り組みは難しく、政治の流れを変えなくてはいい。

**Q** 初等教育では、英語よりも国語が大切との考えを発表している学者もある。小学校での英語教育導入は本当に必要か。

答 英語に親しませることと同時に、国語、とりわけ読書指導に一層力を注ぐ。平成二十二年度から本格的導入と聞いている。

**A** 教育長

社会のグローバル化により、コミュニケーション能力は重要な。町内小学校でも、総合学習の時間に、歌・挨拶など簡単な英語を指導し

ている。英語に親しませることと同時に、国語、とりわけ読書指導に一層力を注ぐ。平成二十二年度から本格的導入と聞いている。

と。経済原理だけでなく、祖国愛や惻隠の情が生きている、と述べている。本町が、品格ある国家

の模範となるべく、今なすべき具体策を伺う。

と。経済原理だけでなく、祖国愛や惻隠の情が生きている、と述べている。本町が、品格ある国家

## 【広辞苑】

惻隠の情

いたわしく思ふこと



新板地区田園風景

## 問 公民館の方向付けを急げ

### 答 十分検討する

**Q** 合併後にも多くの調整事項があった中で、地域づくりの一役を担うべき公民館のあり方の方向付けが未だできていない。

一地区一館構想のみが一人歩きする中で、館長が未だ決まらないままであったり、担当課から直接公民館に活動内容の指示をしたりする事態が生じ、

事実上困惑状況下である。改めて公民館の意義と必要性についての所見は、

**A** 教育長  
社会教育法に公民館の目的・事業が示してあり、活動を通して地域のリーダーをつくっていくのが公民館活動と考える。

住民の生活文化を高める活動をつくりだし、実



小林 貞議員

践していく学習と活動の拠点ということで重要なものと考えている。勿論本町の将来像である「人と自然が輝く高原のまち」の基本理念に向かつて進む上では、公民館を拠点としての活動は必要不可欠である。

**Q** そうであるなら、一日も早い方向付けが望まれる。

既存の地域公民館活動維持を含め、具体的に、一貫性がある、信念の通った案を作成し、九月議会に提案するという意気込みで対処されたい。

**A** 教育長  
特色ある地域づくりのために、自治振興会と公民館活動の一定の整理もしながら、事業の部分、維持管理を含めて十分検討していく。

## 問 行政懇談会の成果と課題は

### 答 住民のナマの声が聞けた

**Q** 町内十一会場で行った就任後初の行政懇談会の成果と課題は、

**A** 町長  
成果としては参加者からかなりの要望、厳しい注文、叱咤激励があり十六名の幹部職員が

「ナマの声」を聞けたこと。課題は、こちら側からの一方的な話で終わり、質疑応答時間がなかったこと。

課題を成果につなげるよう今後も懇談会を続ける。



瀬尾征爾議員

**Q** 小野、新坂地区は地域実態・歴史的に一〇〇%の住民が東城町を日常生活圏として、「おでかけタクシー」の範囲を東城町に広げる要望が強かったが、

は補正対応で補助率は下げない。

**A** 町長  
地域実態は十分理解している。当面許認可のハードルクリアに全力をあげる。特区扱いは検討材料としたい。

**Q** 団塊世代対策は国も「農村・農業・自然志向」をコンセプトの柱にしている。国県制度とローカル分野をセット化し、総合メニューの「団塊世代U・J・リータン事業」の創設を提案したい。

**Q** 産業関係補助金申請が多かったら補助率が下がり計画が狂うとの質問に対しては、

**A** 町長  
提案を参考にして、井関団地をからめて対応していきたい。



行政懇談会

広域農道フラワーロード



## 問 公民館の統廃合は

### 答 今年度、協議を進める

**Q** 公民館は今年度は、今までどおりの活動をするといいながら、来年度からの、各地区一公民館の体制が決まったように言われて指導されている。

**A** どのように検討されているのか。  
教育長  
今年度は、今までど

わりの活動を保障する。公民館の統廃合に向けて協議を進めている。早急に結論を出したい。

**Q** 各地区の公民館運営委員会の方針は尊重するの。

**A** 教育長  
公民館運営委員会の方針は尊重する。

**Q** 検討の結果によって方針の変更もあるのか。

**A** 教育長  
自治振興会、各公民館などと協議し、誠意を持って対応する。場合によっては方針の変更もあり得る。



松本彰夫議員

**Q** 井関住宅団地の進入路は、二車線の補助事業より、単町費で施行した方が良いのでは。造成・販売については、新しい会社を作るのか。町の受け取る土地代、販売価格は。

**A** 町長

進入路は、単町費で、五車線を検討している。進入路、場内道路ができたなら、区画をいれ、販売する。新しい組織の立ち上げは検討する。土地代、販売価格は、これから検討する。

## 問 保育所に英語教育は必要か

### 答 このままでいいか、検討する

**Q** 子どもの教育、人材育成は極めて重要な施策である。英語指導助手が小・中学生に英語を教育所見に教えるのは理解できない。どうせ教えるなら道徳教育をするとか、読み書き、国語を先に教えるべきでは。それ

より中学生に重点的に時間をとるべきだ。  
**A** 教育長  
実情は、ALIT（英語指導助手）が月一回教えているが、英語教育が目的ではなく、外国人に慣れ親しむ機会をあたえるもの。中学校からは、英語の時間がこれ以上

減っては困るといわれている。保育所への派遣がこのままでいいか検討したい。



久保田龍泉議員

**Q** 地区公民館の再編計画が示されたが、地元住民に何の説明もなく、進められている。説

明はしないのか。生涯学習や、社会教育活動が行われ、住民の連帯に大きな役割をはたしている。区民館として存続できるように検討すべきでは。

**A** 教育長  
再編の方向性については行政懇談会で申し上げた。具体的には自治振興会、公民館等と協議し

たい。内部調整している所であり、統合後については、自治振興会の活動拠点は必要であると思う。公民館がある所とないう所があり、不公平感もあり、ない所には何らかの支援も必要では。区民館については、振興会の考えをきき、内部協議したい。



こはだけ保育所



子供神楽（さんむ高原フェア）

## 問 学校・子どもの安全対策は

### 答 安全・安心は行政の責務だ



寄定秀幸議員

**Q** 子どもの尊い命が犠牲になる事件や事故が相次いでいるが、事故や事件は予測することができない。常に気を緩めることなく安全対策に万全を期せ。

**A** 町長  
安全安心は行政の柱である。子どもを命を守ることは、国の宝を守る

ことである。万全な対策をとることが行政の責務である。

**A** 教育長  
あまりにも痛ましい許されない事件が多発しており、再発防止と犯罪の無い環境の整備が急務である。

各学校では、校内安全危機管理マニュアルを作

製し、日々実動体制の再確認を行っている。さらに施設の見守り、授業中の校舎や校庭への出入口の管理を行い、校門や玄関の出入口の一本化で不審者の侵入を防ぐ。

来校者には、身分証明の提示を求め、必ず記入してもらっている。児童生徒の防犯教育の徹底

で、子供一〇番の家での確認、地域安全マップの作製で危険場所のチェックを行っている。下校時の防犯組合による青色パトカーによる巡回、青少年健全育成協議会、PTA、シルバー人材センターなどの街頭指導、啓発活動を行っているが、連携がとれていないのが現状である。

スクールガードリーダー（学校安全指導員）の配備による地域と学校の連携した安全対策の体制整備を実施する。



下校風景

## 問 「神石こだわり牛乳」を学校給食に

### 答 学校給食会と協議する

**Q** 遺伝子組換えの飼料を使用していない「神石高原こだわり牛乳」を学校給食に取入れたらどうか。

**A** 町長  
こだわり牛乳は希少価値があり学校給食として悪くない。

**A** 教育長  
地元産で特色を持っているので学校給食会と協議する。保護者の理解は得られると思う。

**A** 産業課長  
食育の推進基本計画に基づきできるだけ協力する。

**Q** おでかけタクシーは、試行の段階であるが状況はどうか。

**A** 町長  
登録者がまだ少ないので周知徹底を図る。社会的弱者を切捨てる気持ちは無い。さらに改良を加え利便性の高いものにする。本町の福祉タク



木野山孝志議員

**Q** 高速情報通信における、「地域通信基盤整備推進事業交付金制度」は、その後どうなっ

**A** 町長  
将来的には情報通信の谷間・格差の出来ないよう対応する。

**A** 企画課長  
現在のADSL対応

**Q** 旧町村時代の大型プロジェクトについてどう考えるか。

**A** 町長  
基本的に、それぞれの目的に沿うよう、さらに付加価値を高めるよう有効に使用する。具体的には指定管理者制度により十分機能を果たすよう

に実施する。



楽しい給食（高瀬小学校）

## 問 自主防災組織育成を図れ

### 答 組織化に向け取り組み

**Q** 災害は忘れた頃にやってくる。神石高原町地域防災計画に沿った自主防災組織の取り組みが不可欠であり、行政として住民への自主防災組織の育成指導が必要であるが、その取り組みは。

**A** 町長  
自主防災組織は重要であると考えている。自

治振興会を単位として警察、消防等関係機関と連携をとりながら総合的に組織化していく。

**Q** 平成十九年度に行われる公民館再編は設置目的に沿い、住民と一体となった形でなくてはならない。館数を四館に限らず検討すべきでは。



小川清治 議員

セクターや、公社等への町からの財政的関与等の抜本的見直しを図る。総合的改革実施計画策定の年である。具体的な見直し策は。

**A** 町長  
社会教育委員会で来年度から一地区一公民館と方針を出しているが、経過措置が必要である。

**A** 教育長  
九月定例議会には具体的な提示をする。

**Q** 「神石高原町行政改革」で、今年は第

**A** 町長  
「柳豊松陽光の里」「柳三和農業公社」は七月に統合する。特産品販売三施設三人は順調な経営状況であり現状維持する。「株帝釈峡スゴロ」と「仙養ヶ原観光開発組合」は公費投入額が多く、独立採算経営に向け指導改善する。



乳幼児検診

## 問 行政を挙げての食育を

### 答 行政を挙げて推進する

**Q** 子どもたちが健全な心と体を培うことで、町の発展、国の将来もある。基礎となる食育は何よりも優先される重要な問題である。今の子どもたちの中には、骨付きの魚や、野菜が食べられない子、睡眠不足で気力がない子が目立つと、ある

小学校の校長先生が話されていた。学校では給食に旬の野菜を多くし、食物を生命体と捉えて命に感謝して「いたたまます」の挨拶をさせているとも言われた。食育は学校だけでは限界があり、保育所の保護者会や、母親学級、妊産婦、青年の研修



赤木健二 議員

発している。乳幼児健診では、医師や保健師、栄養士が指導をしている。幼児食・離乳食教室・ママズティ教室等行っている。

等でも取り組むべきでは。食育基本法で定められた「食育推進基本計画」を本町でも早急に作成して住民の意識醸成を。

**A** 町長  
食育については重要と認識している。保育所の保護者会では毎日朝食を取らせてもらうよう啓発して推進する。



スコービーフ天国

## 問 地場産業の雇用対策は

### 答 育成強化が本町の命題



村上克朗議員

**Q** 地場産業の雇用拡大が本町当面の課題であるが、基本的な対策は。

**A** 町長

既存の企業の育成強化はやっていくが、時代の要請にあったものが出ない場合もある。企業

誘致で対応していく。

**Q** 建設業の農業に向けて、県の指導が高まっている。本町での指導は。

**A** 町長

県の取り組みで建設

業の再編について協議しているが、筋書きどおりではない。県のモデル事業の中に六社が指定され、現在四社が取り組んでいる。

**Q** 農業特区の考えと対策は。

**A** 町長

特区を設けなくても、一般法人もリース方式によって農地の耕作権が認められ、取得も出来るのでそれを推進する。

**Q** 総合開発整備事業の宅地造成は土地会社での特別会計を設けないのか。

**A** 町長

基本的にはまだ内部調整をしていないが、民間資金の導入による新しい組織を作って次の段階に移って行く。

**Q** 公民館活動は、各自治振興会会長や公民

館長・行政関係課長・運営委員会・運営審議会で組織改革委員会を早急に立ち上げるよう要望する。

**A** 町長

民間化には反対であり理解もしていないが、公社の取り組みを止めることは出来ない。行政が情報提供をする

と理解したことになるので、今は音無しの状態である。

下をどう打開するの。

公民館活動は、各自治振興会会長や公民

## 採択された意見書

議員の発議により、四案件の意見書が提出され、すべて原案どおり採択されました。

**公共工事における賃金等確保法（公契約法）の制定を求める意見書**

提案者 松本彰夫  
賛成者 村上克朗  
全会一致

**地方の道路整備の促進に関する意見書**

提案者 渡邊俊徳  
賛成者 松本彰夫  
全会一致

**次期定数改善計画の実施と国庫負担制の堅持を求める意見書**

提案者 松本彰夫  
賛成者 赤木健二  
反対…四 賛成…十三



建設工事現場